

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

表紙, 目次, 奥付, その他

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-06-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://repository.ninjal.ac.jp/records/1333">https://repository.ninjal.ac.jp/records/1333</a>

国立国語研究所報告 71

# 研究報告集

— 3 —

国立国語研究所

1982

## 刊行のことば

『研究報告集』は、国立国語研究所において、所員がそれぞれの研究段階で行った基礎的研究や附随的研究、また研究方法に関する実験的調査、結果を確認するための検証調査等についての小報告をまとめて公にするものである。

今回は、7編の論文をもってその第3集とし、ここに刊行することにした。

国語研究の上に寄与することができ、また教示、批判が得られれば幸いである。

昭和56年11月

国立国語研究所長 林 大

## 目 次

- コ・ソ・アの指示領域について ……高橋 太郎…… 1  
鈴木美都代
- 叙法副詞の意味と機能 ……工藤 浩……45  
——その記述方法を求めて——
- 私生児を意味する方言のこと ……渡辺 友左……93
- 撥音の実験音声学的研究 ……高田 正治…… 183
- 新聞の漢字含有率の変遷 ……梶原滉太郎…… 209  
——明治・大正・昭和を通じて——
- 就学前幼児の語彙……大久保 愛…… 237  
——4児による日常生活語の実態—— 川又瑠璃子
- 各種文章の字種比率 ……佐竹 秀雄…… 327

『研究報告集』収録論文一覧

第1集

- 「も」によるとりたて形の記述的研究 高橋太郎  
雑誌九十種資料の漢語表記 宮島達夫・高木 翠  
談話行動の実験社会言語学的研究——目標と資料収集方法について——  
江川 清  
身ぶりの記述について 江川 清  
身振りを記録する——「変位」の記録表試案—— 杉戸清樹  
談話行動の計量的研究について 米田正人  
表現法の調査方法について 佐藤亮一・真田信治・沢木幹榮  
明治初期東京人の階層と語種との関係  
——『安愚楽鍋』を中心として—— 飛田良文

第2集

- 意味分野と語種 宮島達夫  
日本語の機能動詞表現をめぐって 村木新次郎  
談話行動の総合テキストについて 南 不二男・江川 清・米田正人・  
杉戸清樹  
文章朗読における調音上の特徴について 高田正治  
幼児の使用語の意味の理解——満2歳児の一日調査から—— 大久保 愛  
語の意味発達——最近の研究動向から—— 岩田純一  
談話における「はい」と「ええ」の機能 日向茂男  
音韻論における日本語五母音体系 石井久雄

国立国語研究所刊行書一覽

国立国語研究所報告

1	八 丈 島 の 言 語 調 査	秀英出版刊	品切れ
2	言 語 生 活 の 実 態 —白河市および付近の農村における—	〃	〃
3	現 代 語 の 助 詞 ・ 助 動 詞 —用法と実例—	〃	2,000円
4	婦 人 雑 誌 の 用 語 —現代語の語彙調査—	〃	品切れ
5	地 域 社 会 の 言 語 生 活 —鶴岡における実態調査—	〃	〃
6	少 年 と 新 聞 —小学生・中学生の新聞への接近と理解—	〃	〃
7	入 門 期 の 言 語 能 力	〃	〃
8	談 話 語 の 実 態	〃	〃
9	読 みの 実 験 的 研 究 —音読にあらわれた読みあやまりの分析—	〃	〃
10	低 学 年 の 読 み 書 き 能 力	〃	〃
11	敬 語 と 敬 語 意 識	〃	〃
12	総 合 雑 誌 の 用 語(前編) —現代語の語彙調査—	〃	〃
13	総 合 雑 誌 の 用 語(後編) —現代語の語彙調査—	〃	〃
14	中 学 年 の 読 み 書 き 能 力	〃	〃
15	明 治 初 期 の 新 聞 の 用 語	〃	〃
16	日 本 方 言 の 記 述 的 研 究	明治書院刊	〃
17	高 学 年 の 読 み 書 き 能 力	秀英出版刊	〃
18	話 し こ と ば の 文 型 (1) —対話資料による研究—	〃	〃
19	総 合 雑 誌 の 用 字	〃	〃
20	同 音 語 の 研 究	〃	〃
21	現 代 雑 誌 九 十 種 の 用 語 用 字 (1) —総記および語彙表—	〃	〃
22	現 代 雑 誌 九 十 種 の 用 語 用 字 (2) —漢 字 表—	〃	〃

23	話しことばの文型 (2) ——独話資料による研究——	秀英出版刊	品切れ
24	横組みの字形に関する研究	〃	〃
25	現代雑誌九十種の用語用字 (3) ——分析——	〃	〃
26	小学生の言語能力の発達	明治図書刊	2,100円
27	共通語化の過程 ——北海道における親子三代のことば——	秀英出版刊	品切れ
28	類義語の研究	〃	〃
29	戦後の国民各層の文字生活	〃	400円
30-1	日本語地図 (1)	大蔵省印刷局刊	品切れ
30-2	日本語地図 (2)	〃	〃
30-3	日本語地図 (3)	〃	〃
30-4	日本語地図 (4)	〃	〃
30-5	日本語地図 (5)	〃	〃
30-6	日本語地図 (6)	〃	〃
31	電子計算機による国語研究	秀英出版刊	〃
32	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(1) ——親族語彙と社会構造——	〃	〃
33	家庭における子どものコミュニケーション意識	〃	350円
34	電子計算機による国語研究 (Ⅱ) ——新聞の用語用字調査の処理組織——	〃	品切れ
35	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(2) ——マキ・マケと親族呼称——	〃	450円
36	中学生の漢字習得に関する研究	〃	5,000円
37	電子計算機による新聞の語彙調査	〃	品切れ
38	電子計算機による新聞の語彙調査 (Ⅱ)	〃	2,800円
39	電子計算機による国語研究 (Ⅲ)	〃	700円
40	送りがな意識の調査	〃	1,500円
41	待遇表現の実態 ——松江24時間調査資料から——	〃	900円
42	電子計算機による新聞の語彙調査 (Ⅲ)	〃	1,200円
43	動詞の意味・用法の記述的研究	〃	6,000円
44	形容詞の意味・用法の記述的研究	〃	4,000円

45	幼児の読み書き能力	東京書籍刊	4,500円
46	電子計算機による国語研究(IV)	秀英出版刊	700円
47	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(3) ——性向語彙と価値観——	〃	700円
48	電子計算機による新聞の語彙調査(IV)	〃	3,000円
49	電子計算機による国語研究(V)	〃	900円
50	幼児の文構造の発達 ——3歳～6歳児の場合——	〃	品切れ
51	電子計算機による国語研究(VI)	〃	1,000円
52	地域社会の言語生活 ——鶴岡における20年前との比較——	〃	1,800円
53	言語使用の変遷(1) ——福島県北部地域の面接調査——	〃	2,500円
54	電子計算機による国語研究(VII)	〃	1,000円
55	幼児語の形態論的な分析 ——動詞・形容詞・述語名詞——	〃	品切れ
56	現代新聞の漢字	〃	〃
57	比喩表現の理論と分類	〃	6,000円
58	幼児の文法能力	東京書籍刊	5,500円
59	電子計算機による国語研究(VIII)	秀英出版刊	1,300円
60	X線映画資料による母音の発音の研究 ——フォォーム研究序説——	〃	2,500円
61	電子計算機による国語研究(IX)	〃	1,300円
62	研究報告集(1)	〃	1,700円
63	児童の表現力と作文	東京書籍刊	6,000円
64	各地方言親族語彙の言語社会学的研究(1)	秀英出版刊	2,000円
65	研究報告集(2)	〃	3,000円
66	幼児の語彙能力	東京書籍刊	8,000円
67	電子計算機による国語研究(X)	秀英出版刊	1,500円
68	専門語の諸問題	〃	4,000円
69	幼児・児童の連想語彙表	東京書籍刊	6,800円
70-1	大都市の言語生活——分析編——	三省堂刊	7,800円
70-2	大都市の言語生活——資料編——	〃	12,000円



### 国立国語研究所資料集

1	国語関係刊行書目(昭和17~24年)	秀英出版刊	45円
2	語彙調査 —現代新聞用語の一例—	〃	品切れ
3	送り仮名法資料集	〃	〃
4	明治以降国語学関係刊行書目	〃	〃
5	沖繩語辞典	大蔵省印刷局刊	3,500円
6	分類語彙表	秀英出版刊	1,800円
7	動詞・形容詞問題語用例集	〃	1,700円
8	現代新聞の漢字調査(中間報告)	〃	500円
9	牛店 雑誌 安愚楽鍋用語索引	〃	1,500円
10-1	方言談話資料(1) —山形・群馬・長野—	〃	6,000円
10-2	方言談話資料(2) —奈良・高知・長崎—	〃	6,000円
10-3	方言談話資料(3) —青森・新潟・愛知—	〃	6,000円
10-4	方言談話資料(4) —福井・京都・島根—	〃	6,000円
10-5	方言談話資料(5) —岩手・宮城・千葉・静岡—	〃	6,000円
11	日本言語地図語形索引	大蔵省印刷局刊	1,500円

### 国立国語研究所研究部資料

	幼児のことば資料(1)	秀英出版刊	3,800円
	幼児のことば資料(2)	〃	3,800円

### 国立国語研究所論集

1	ことばの研究	秀英出版刊	品切れ
2	ことばの研究 第2集	〃	〃
3	ことばの研究 第3集	〃	〃
4	ことばの研究 第4集	〃	1,300円
5	ことばの研究 第5集	〃	1,300円

### 日本語教育教材

1	日本語と日本語教育 —発音表現編—	国立国語研究所 文化庁共編	大蔵省印刷局刊	650円
2	日本語と日本語教育 —文字表現編—	〃	〃	850円

3	日本語の文法(上)	—日本語教育指導参考書4—	大蔵省印刷局刊	450円
4	日本語の文法(下)	—日本語教育指導参考書5—	〃	550円
5	日本語教育の評価法	—日本語教育指導参考書6—	〃	700円
6	中・上級教授法	—日本語教育指導参考書7—	〃	500円
7	日本語の指示詞	—日本語教育指導参考書8—	〃	500円

国立国語研究所年報 秀英出版刊

1	昭和24年度	品切れ	17	昭和40年度	品切れ
2	昭和25年度	〃	18	昭和41年度	300円
3	昭和26年度	160円	19	昭和42年度	300円
4	昭和27年度	160円	20	昭和43年度	品切れ
5	昭和28年度	品切れ	21	昭和44年度	〃
6	昭和29年度	200円	22	昭和45年度	〃
7	昭和30年度	品切れ	23	昭和46年度	450円
8	昭和31年度	〃	24	昭和47年度	450円
9	昭和32年度	〃	25	昭和48年度	品切れ
10	昭和33年度	〃	26	昭和49年度	600円
11	昭和34年度	〃	27	昭和50年度	700円
12	昭和35年度	350円	28	昭和51年度	非売
13	昭和36年度	160円	29	昭和52年度	非売
14	昭和37年度	220円	30	昭和53年度	800円
15	昭和38年度	250円	31	昭和54年度	1,200円
16	昭和39年度	品切れ	32	昭和55年度	1,300円

国語年鑑 秀英出版刊

昭和29年版	品切れ	昭和35年版	品切れ
昭和30年版	〃	昭和36年版	〃
昭和31年版	〃	昭和37年版	〃
昭和32年版	〃	昭和38年版	〃
昭和33年版	〃	昭和39年版	〃
昭和34年版	〃	昭和40年版	〃

昭和41年版	品切れ	昭和49年版	3,800円
昭和42年版	〃	昭和50年版	3,800円
昭和43年版	〃	昭和51年版	4,000円
昭和44年版	〃	昭和52年版	品切れ
昭和45年版	1,500円	昭和53年版	4,600円
昭和46年版	2,000円	昭和54年版	4,800円
昭和47年版	2,200円	昭和55年版	5,200円
昭和48年版	2,700円	昭和56年版	6,500円

高校生と新聞	国立国語研究所 日本新聞協会	共編	秀英出版刊	280円
青年とマス・コミュニケーション	日本新聞協会 国立国語研究所	共著	金沢書店刊	品切れ

国立国語研究所三十年のあゆみ —研究業績の紹介—	秀英出版刊	1,500円
-----------------------------	-------	--------

## 日本語教育教材映画一覧

(各巻16ミリカラー, 5分, 日本シネセル社販売)

巻	題名	プリント価格
第1巻*	これはかえるです —「こそあど」+「は~です」—	30,000円
第2巻*	さいふはどこにありますか —「こそあど」+「~がある」—	〃
第3巻*	やすすくないです, たかいです —形容詞とその活用導入—	〃
第4巻*	なにをしましたか —動詞—	〃
第5巻*	しずかなこうえんで —形容動詞—	〃
第6巻*	さあ, かぞえましょう —助数詞—	〃
第7巻	うつくしいさらになりました —「なる」「する」—	〃
第8巻*	きりんはどこにいますか —「いる」「ある」—	〃
第9巻*	かまくらをおきます —移動の表現—	〃
第10巻	おかねをとられました —受身の表現1—	〃
第11巻*	どちらがすきですか —比較・程度の表現—	〃
第12巻*	もみじがとてもきれいでした —です, でした, でしょう—	〃

第13巻*	きょうは あめが ふっています —して、している、していた—	30,000円
第14巻*	そうじは してありますか —してある、しておく、してしまう—	//
第15巻*	おみまいに いきませんか —依頼・勧誘の表現—	//
第16巻*	なみのおとが きこえてきます —「いく」「くる」—	//
第17巻	みずうみのえを かいたことがありますか —経験・予定の表現—	//
第18巻	あのいわまで およげますか —可能の表現—	//
第19巻	よみせを みに いきたいです —意志・希望の表現—	//
第20巻	てんきが いいから さんぽを しましょう —原因・理由の表現—	//
第21巻	さくらが きれいだ そうです —伝聞・模態の表現—	//
第22巻	あめに ふられて こまりました —受身の表現2—	//

第1巻～第3巻は、文化庁との共同企画

VTR 価格1/2インチオープンリール21,000円, 3/4インチカセット20,000円

\* 印については日本語教材映画解説の冊子がある。

昭和57年3月

国立国語研究所

〒115 東京都北区西が丘3-9-14  
電話東京(900)3111(代表)

UDC 809.56(082)

NDC 810.5

OCCASIONAL PAPERS -3-

- TAKAHASHI Tarō and SUZUKI Mitsuyo: The Function of the Three Sets of Deictic Terms: Ko-, So-, A- in Referring to Physical Space—A Sketch of the Development of Such Studies from 1833 to the Present and an Experimental Study—
- KUDŌ Hiroshi: Meanings and Functions of Modal Adverbs in Modern Japanese—In Search of a Method of Description—
- WATANABE Tomosuke: A Study of Terms in Japanese Dialects Denoting an Illegitimate Child
- TAKADA Masaharu: An Experimental Phonetic Study of the Syllabic Nasal in Japanese
- KAJIWARA Kōtarō: The Changing Proportions of Kanji in Newspapers—An Investigation of the Meiji, Taishō and Shōwa Eras—
- OOKUBO Ai and KAWAMATA Ruriko: The Lexicon of Pre-school Children—A Study of the Actual Usage of Four Children—
- SATAKE Hideo: On the Frequency Ratio of Kinds of Letters in All Sorts of Sentence

THE NATIONAL LANGUAGE RESEARCH INSTITUTE

3-9-14 NISIGAOKA, KITA-KU, TOKYO

1982